

# 奈良県学校改善支援プラン

平成22年度

追補版



奈良県教育委員会

# = 目 次 =

奈良県学校改善支援プラン（概要）	1
全国学力・学習状況調査の結果概要	2
教科に関する調査結果から	3
児童生徒質問紙調査結果から	15
学校質問紙調査結果から	23
各学校での検証改善サイクルと取組例	30

# 奈良県学校改善支援プラン(概要)

- 1 調査結果から見られる本県の児童生徒の姿
- (1)教科に関する調査結果から明らかになった姿
  - (2)児童生徒質問紙調査結果から明らかになった姿
  - (3)学校質問紙調査結果から明らかになった姿

- 2 調査結果から見られる本県の児童生徒の課題
- (1)教科に関する調査結果から明らかになった課題
  - (2)児童生徒質問紙調査結果から明らかになった課題
  - (3)学校質問紙調査結果から明らかになった課題

明らかになった課題

- ① 表現の仕方について注意して読み、内容について理解することに課題がある。
- ② 日常的な事象について、筋道を立てて考え、数学的に表現することに課題がある。
- ③ 学習が好きだと思っている児童生徒の割合が低い。
- ④ 学校のきまりを守っている児童生徒の割合は、少しずつ改善されているが、全国平均と比べ依然として低い。
- ⑤ 全国学力・学習状況調査の調査結果が、学校の取組に十分に活かされていない。

課題解決に向けた学校の取組

学校に対する県教育委員会の支援

- ・ 自校の結果の分析
- ・ 自校の課題の把握
- ・ 授業の工夫改善
- ・ 教職員研修の充実
- ・ 児童生徒の生活習慣の改善
- ・ 児童生徒の規範意識の育成
- ・ 取組への自己評価
- ・ 成果と課題の明確化
- ・ 成果と課題を基にした新たな取組

- ・ 学校改善支援プランの改訂
- ・ 集計・分析ソフトの作成・配布
- ・ 指導主事の派遣
- ・ 研修講座の開催
- ・ 学力向上フォーラムの開催
- ・ 教材の作成、配布
- ・ 小学校算数、中学校数学「わくわくワーク」
- ・ 小学校教科等指導資料、中学校教科等指導資料
- ・ 家庭への啓発
- ・ 人的支援
- ・ 地域ぐるみで学校を支援する体制の構築

# 平成22年度全国学力・学習状況調査の調査結果の概要について

## 1 調査の概要

○実施日 平成22年4月20日（火）

○調査対象及び方法

- ・小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒のうち、文部科学省が調査対象として抽出した学校において行う。

○調査内容

- ・教科に関する調査は、国語、算数・数学について、それぞれ主として「知識」に関する問題（問題A）と主として「活用」（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など）に関する問題（問題B）を出題。
- ・生活習慣や学習環境に関する質問紙調査を実施。

## 2 結果に関する調査の結果

（平成22年度上段：公立学校の平均正答数 下段：平均正答率の95%信頼区間（%））

（平成21年度上段：公立学校の平均正答数 下段：平均正答率（%））

	国語 A				国語 B			
	平成21年度		平成22年度		平成21年度		平成22年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	12.6/18 69.9	12.7/18 70.6	12.5/15 83.2-83.5	12.6/15 83.3-84.8	5.1/10 50.5	5.1/10 51.4	7.8/10 77.7-78.0	7.9/10 77.9-79.9
中学校	25.4/33 77.0	25.8/33 78.2	26.3/35 75.0-75.2	26.5/35 75.1-76.2	8.2/11 74.5	8.4/11 76.1	6.5/10 65.1-65.5	6.5/10 64.3-65.7
	算数・数学 A				算数・数学 B			
	平成21年度		平成22年度		平成21年度		平成22年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	14.2/18 78.7	14.4/18 79.8	14.1/19 74.0-74.4	14.2/19 73.8-75.8	7.7/14 54.8	7.8/14 56.0	5.9/12 49.1-49.5	6.0/12 49.1-51.1
中学校	20.7/33 62.7	21.6/33 65.3	23.3/36 64.4-64.8	24.1/36 65.9-67.8	8.5/15 56.9	8.9/15 59.0	6.1/14 43.1-43.5	6.3/14 44.3-46.4

本県は、主として「知識」に関する問題（問題A）では、全ての調査において全国平均正答数を0.1～0.8上回っている。主として「活用」に関する問題（問題B）については、中学校国語で全国平均正答数と同じであるが、それ以外については全国平均正答数を0.1～0.2上回っている。

## 3 文部科学省による分析

○これまでの調査と同様、主として「活用」に関する問題（B問題）では、記述式問題を中心に正答率の低い問題があり、例えば、次のような課題が見られる。

【国語】

資料や情報に基づいて自分の考えや感想を明確に記述すること。

【算数・数学】

日常的な事象について、筋道を立てて考え、数学的に表現すること。

○一方、主として「知識」に関する問題（A問題）は、平均正答率はB問題より高いが、各設問を個別に見ると継続的な課題が見られるものがある。後の学習内容の理解に影響を及ぼすものであるため、A問題の課題についても留意が必要である。

【国語】

文の構成を理解し、伝えたい内容を適切に書いたり、推敲したりすること。

【算数・数学】

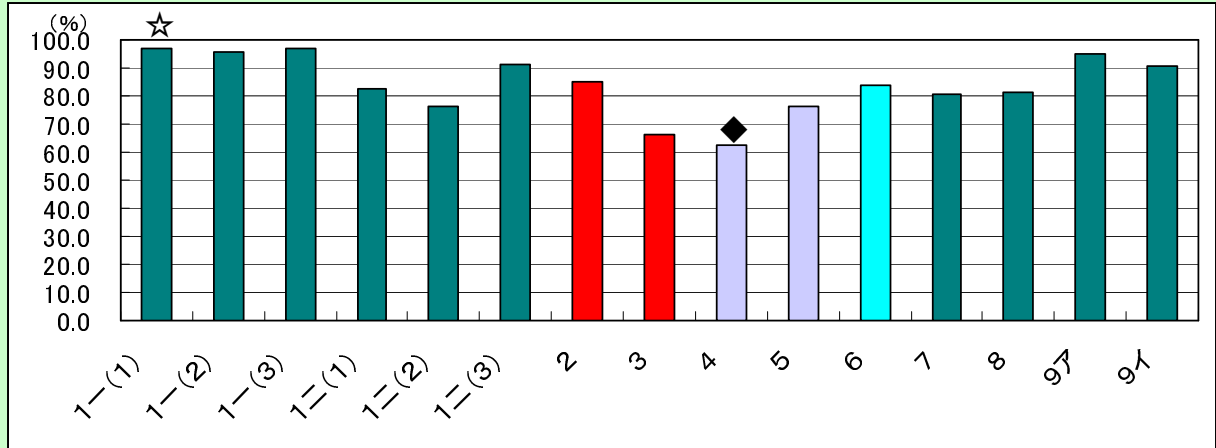
割合や比例など、2つの数量の関係を理解すること。

→思考力・判断力・表現力等といった、知識を「活用」する力と合わせ、基礎的・基本的な知識・技能もしっかりと定着させることが重要である。

（「平成22年度全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント」文部科学省 平成22年7月より）

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)

話すこと・聞くこと      書くこと      読むこと      言語事項



### ☆最も正答率の高い問題

設問番号                    1-(1)  
 奈良県正答率            97.0%  
 全国正答率                96.2%  
 学習指導要領の領域等

言語事項

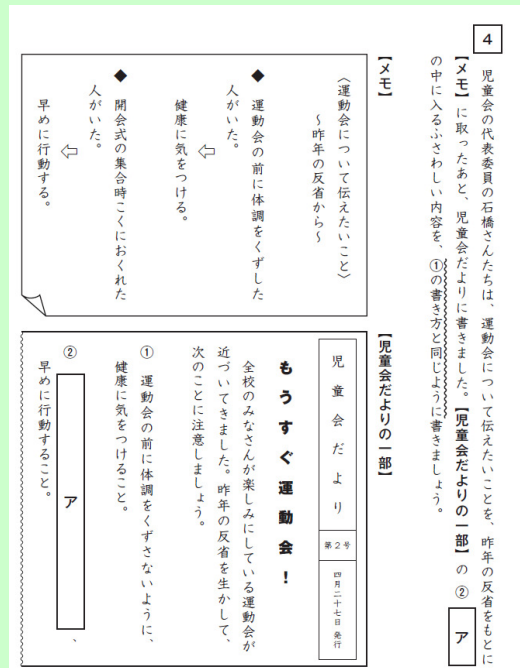
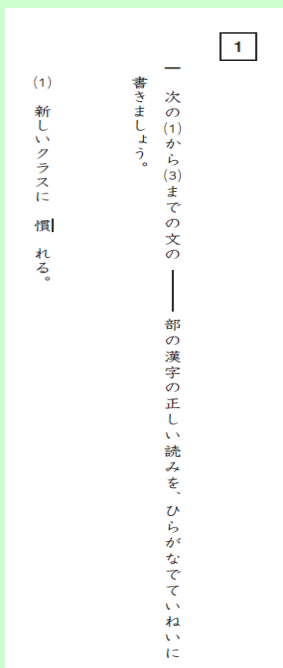
問題形式                    短答式

### ◆最も正答率の低い問題

設問番号                    4  
 奈良県正答率            62.4%  
 全国正答率                60.3%  
 学習指導要領の領域等

書くこと・言語事項

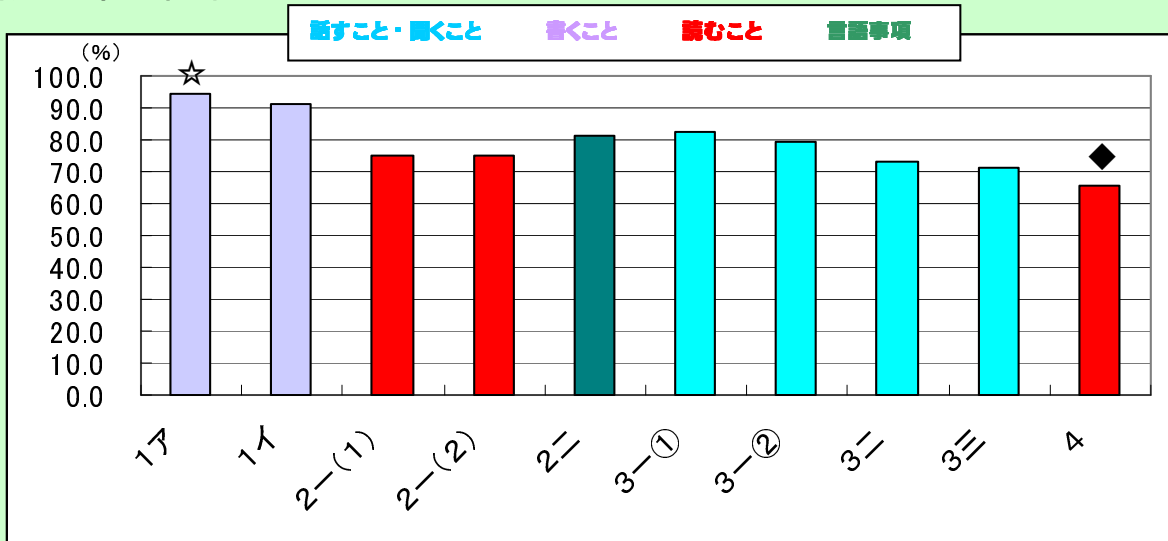
問題形式                    短答式



「言語事項」についてはおおむね理解することができているが、文と文の意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書くことについては課題がある。



問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号 1 ア  
 奈良県正答率 94.6%  
 全国正答率 93.7%  
 学習指導要領の領域等

書くこと

問題形式 短答式

◆最も正答率の低い問題

設問番号 4  
 奈良県正答率 65.7%  
 全国正答率 65.5%  
 学習指導要領の領域等

読むこと

問題形式 記述式

〔宮本さんのノートの一部〕

(問い) 宮本さんは、AとBの二つのカードの内容をノートに整理して、考えたことを書きました。

ア イ の中に入るふさわしい内容を、それぞれ書きましょう。

(二つのカードの内容)

Aのカードはどちらか、  
 AとBのカードはどちらも、  
 学校新聞をよりよくするには、  
 「ア」  
 という方法がよいと考えている。

Bのカードでは、  
 「読むこと」が重要だと  
 思っている。この内容を整理して、  
 「イ」  
 という内容を問題にしている。

(考えたこと)

◆ AとBが問題にしていることにはちがいがあがるが、方法はとてもよいと思う。五月号の新聞作りに生かすために、新聞委員のみんなと話し合うことにする。

〔問い〕 中島さんは、どの目覚まし時計を選べばよいでしょうか。A・B・Cの中から一つ選んで、その記号を書き出した文の□の中に書きましょう。そして、その目覚まし時計を選ぶ理由を、「資料」の情報と「決めたこと」の内容のどちらにもれなから、書き出した文に続けて、六十字以上、八十字以内にとめて書きましょう。

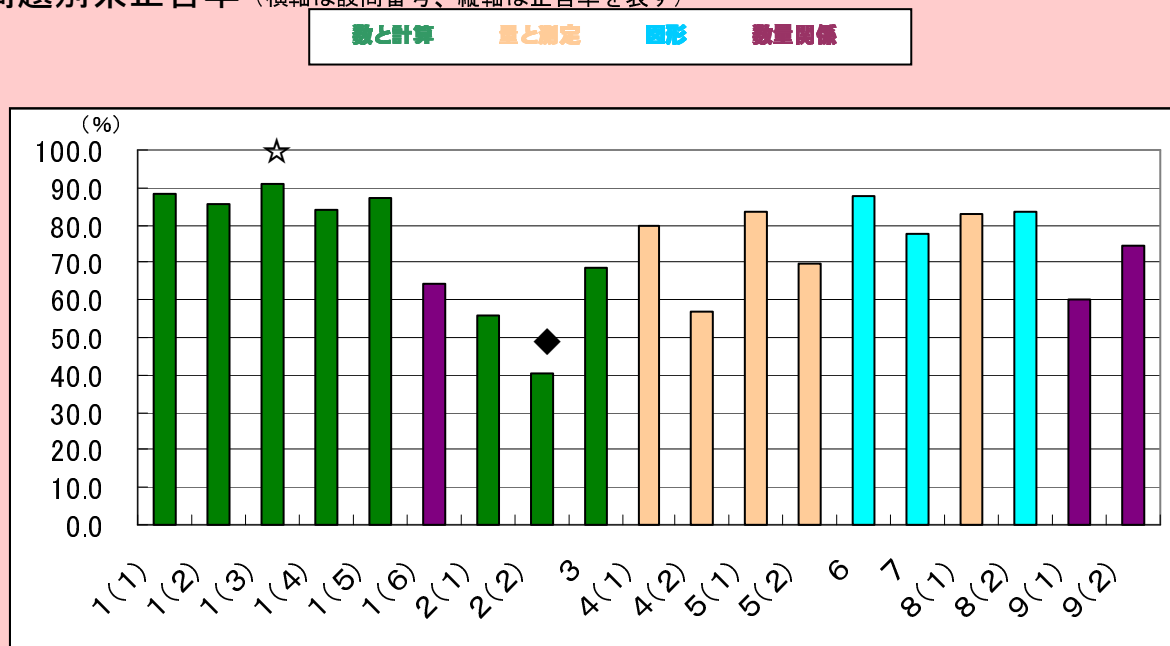
※この原簿用紙は書き用紙として使っても使わなくてもかまいません。原簿用紙に書きましょう。

選ぶ	目覚まし時計は	□	です。	理由は	□
理由は、					

80字 60字

目的や意図に応じて、読み手が評価した内容を整理し、表現の効果などについて確かめたり、工夫したりすることはできているが、必要な情報を関係付けて読み、理由を明確にして説明することに課題がある。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



## ☆最も正答率の高い問題

設問番号 1(3)  
 奈良県正答率 90.8%  
 全国正答率 89.6%

学習指導要領の領域

数と計算

問題形式 短答式

## ◆最も正答率の低い問題

設問番号 2(2)  
 奈良県正答率 40.4%  
 全国正答率 40.2%

学習指導要領の領域

数と計算

問題形式 短答式

1

次の計算をしましょう。

(1)  $243 - 65$

(2)  $27 \times 3.4$

(3)  $912 \div 4$

2

次の問題に答えましょう。

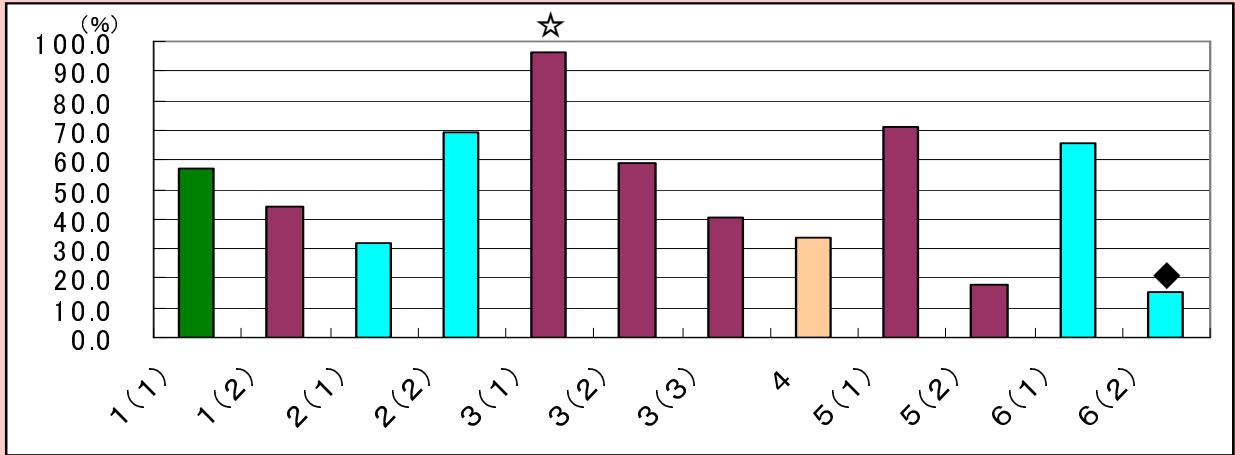
(1) 8 m の重さが 4 kg の棒<sup>ぼう</sup>があります。  
 この棒の 1 m の重さは何 kg ですか。求める式と答えを書きましょう。

(2) 2 l のジュースを 3 等分すると、1 つ分の量は何 l ですか。答えを分数で書きましょう。

数量を等分したときの 1 つ分を分数で表すことや商が 1 よりも小さくなる場面で除法が用いられることを理解することに課題がある。除法の計算等はおおむねできている。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)

数と計算    量と測定    図形    数量関係



☆最も正答率の高い問題

設問番号            3(1)  
 奈良県正答率        96.6%  
 全国正答率            95.9%

学習指導要領の領域

数量関係

問題形式            短答式

◆最も正答率の低い問題

設問番号            6(2)  
 奈良県正答率        15.1%  
 全国正答率            14.6%

学習指導要領の領域

図形

問題形式            記述式

3

まことさんは、自分の学校で1年間に起こったけがについて調べています。

(1) はじめに、下の3つの円グラフを見てください。これらは、けがが起こった時間、場所、けがの種類を表しています。

学校で1年間に起こったけが

けががいちばん多く起こった場所は、学校のどこですか。答えを書きましょう。

(2) ふたりは、次の図のように、点イと点ウはそれぞれ別の部分を通ることに決めました。

そこで、ふたりは、次のように考えました。

下アが閉まる時、点イと点ウはいっしょに動くから、通る部分の長さでは等しくなるのかな。

点ウが通る部分の長さ(ア)と、点イが通る部分の長さ(イ)を比べると、点イの長さは50 cmです。

点ウが通る部分(ウ)は、点アと点エを結んだ直線になります。

点イが通る部分(イ)は、点アと点エを結んだ直線になります。

②の長さは、①の長さの2倍になります。

$50 \times 2 = 100$

②の長さは、100 cmです。

洋平さんは、点イが通る部分について、次のように考えました。

点イが通る部分(イ)は、点アを中心として、辺アイを半径とする円周の一部になります。

角イの大きさは90度です。

点イが通る部分(イ)の長さ、点ウが通る部分(ウ)の長さ(100 cm)を比べると、どのようなことが言えますか。

下の1から3までの中から正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んでわけを、②の長さを求める式と言葉を使って書きましょう。

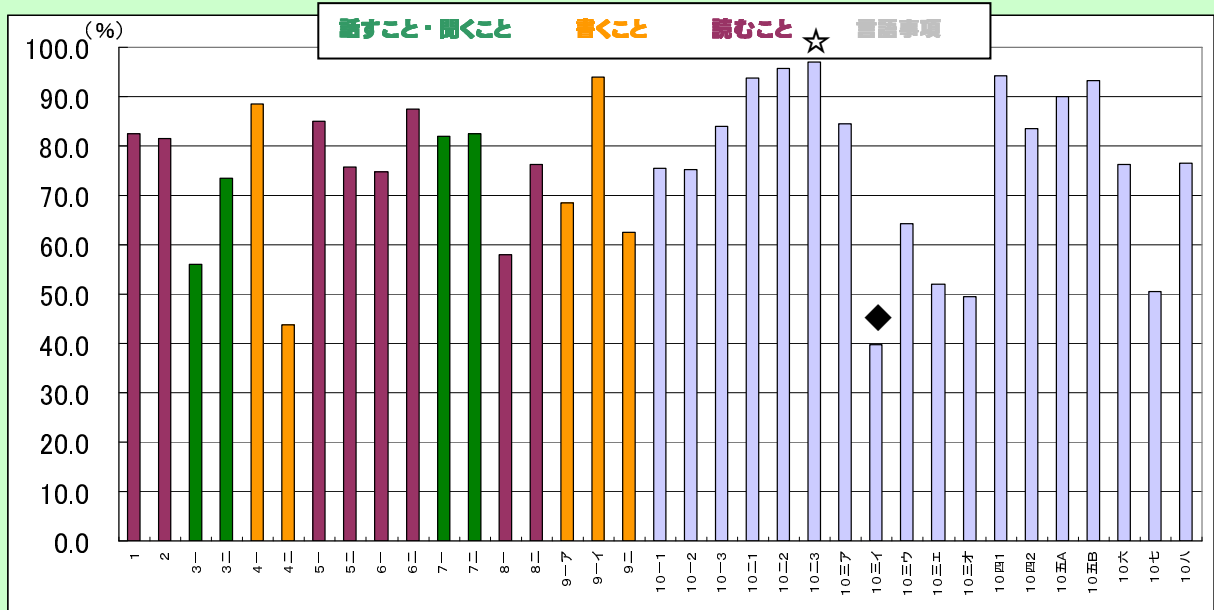
ただし、円周率は3.14とします。

- ①の長さは、②の長さ(100 cm)より長い。
- ②の長さは、③の長さ(100 cm)より短い。
- ③の長さは、②の長さ(100 cm)と等しい。

示された図や考えを基に、長さの大小を判断し、その理由を書くことに課題がある。3つのグラフを見てけがが多く起こった場所をかく等はおおむねできている。



問題別県平均正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号	10	二	3
奈良県正答率	96	9	
全国正答率	96	3	

学習指導要領の領域等

言語事項

問題形式

短答式

二次の1から3までの文中の——線部の漢字の正しい読みをひらがなでいねいに書きなさい。

1 物語の冒頭を読む。

2 衝撃を受ける。

3 調べたことから結論を導く。

◆最も正答率の低い問題

設問番号	10	三	イ
奈良県正答率	39	8	
全国正答率	43	2	

学習指導要領の

領域等 言語事項

問題形式 選択式

三次のアからオの文では、( ) の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

ア 物質が変化していく(1 家庭 2 仮定 3 過程 4 課程)を調べる。

イ 会議で決を(1 執る 2 撮る 3 捕る 4 採る)。

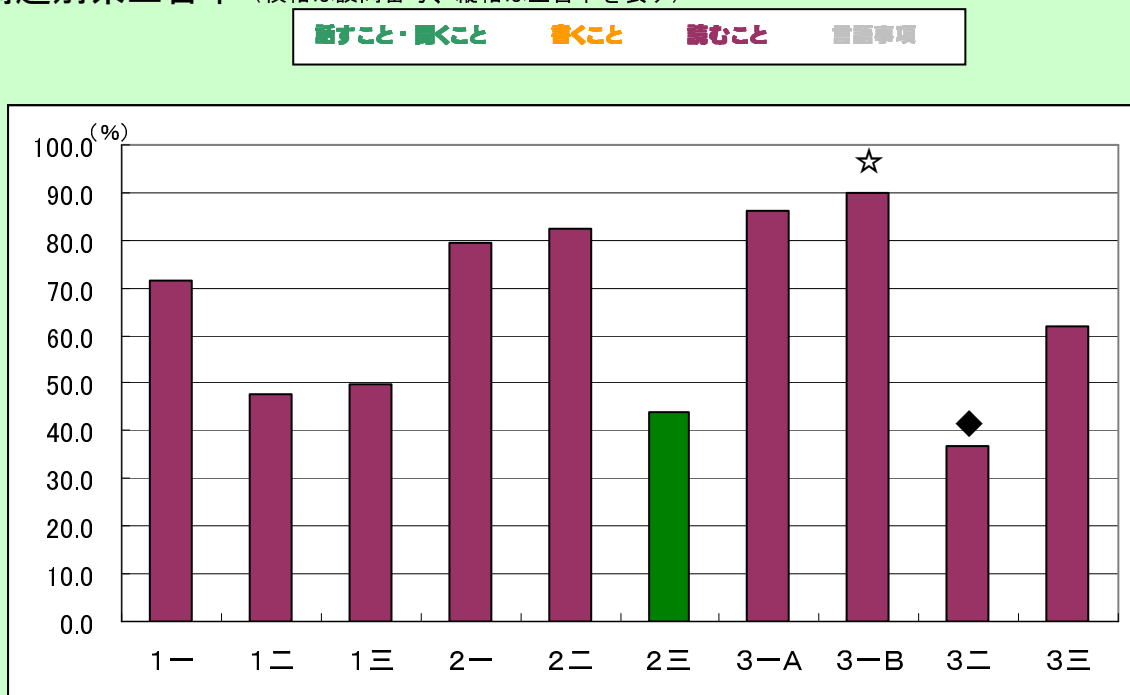
ウ わたしが健康になったのは、(1 ひとえに 2 ほのかに 3 いちすに 4 むやみに)母のおかげです。

エ 参観日には父が学校へ来ると(1 申して 2 おっしゃって 3 話されて 4 申されて)おりました。

オ 兄は困っている人を見るとほろっておけない(1 品格 2 資質 3 性分 4 器量)だ。

「読むこと」、「言語事項」に関する基礎的な内容については、おおむね理解することができているが、例えば、同訓異字から適切なものを選択することや、読みやすく分かりやすい文章にするために、二文に分けて書くことに課題がある。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号 3 一 B  
 奈良県正答率 90.0%  
 全国正答率 89.2%

学習指導要領の領域等

読むこと

問題形式 選択式

「〜線部A」やりきれない。」「〜線部B」相応に」とありますが、それぞれの意味として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つずつ選ぶなさい。

A やりきれない  
 1 役に立たない  
 2 善く着かない  
 3 耐えられない  
 4 無相できない

B 相応に  
 1 それなりに  
 2 ささやかに  
 3 想像以上に  
 4 世代ごとに

◆最も正答率の低い問題

設問番号 3 二  
 奈良県正答率 37.0%  
 全国正答率 35.5%

学習指導要領の領域等

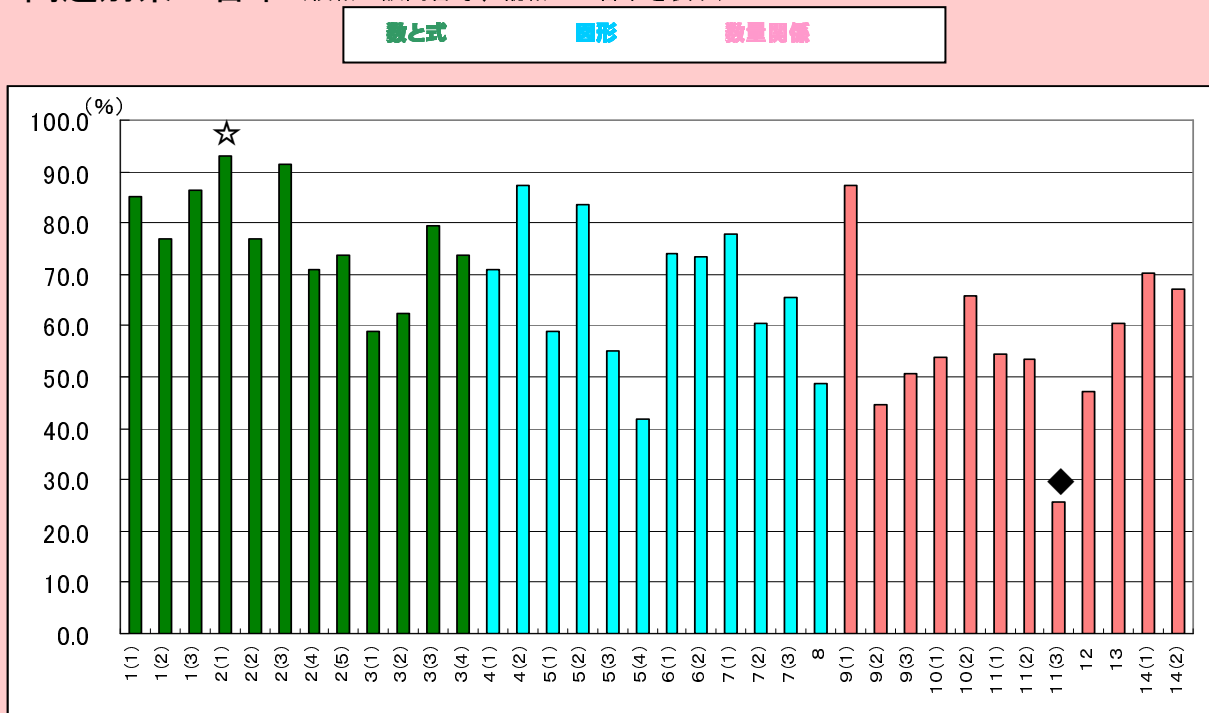
読むこと

問題形式 短答式

二 ―線部「羊の御厄介になつたり、蚤のお世話になつたり、細畑のお情けさん受ける」とありますが、この部分は、人間が何をどうすることを表したものでですか。十字以内で書きなさい。

文脈の中における語句の意味を的確にとらえることはおおむねできている。表現の仕方に注意して読み、内容について理解することに課題がある。記述式の設問については正答率がやや低く無解答率も高くなる傾向がある。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号 2(1)

奈良県正答率 92.9%

全国正答率 90.8%

学習指導要領の領域

数と式

問題形式 短答式

2 次の(1)から(5)までの各問に答えなさい。

(1)  $b \times 5 \times a$  を、文字を用いた式の表し方にしたがって書きなさい。

◆最も正答率の低い問題

設問番号 11(3)

奈良県正答率 25.7%

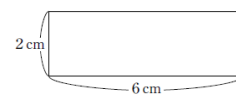
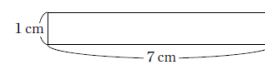
全国正答率 22.9%

学習指導要領の領域

数量関係

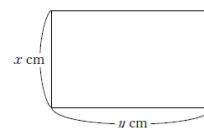
問題形式 短答式

(3) 長さ16 cm のひもを使って、いろいろな形の長方形を作ります。長方形の縦の長さを変えると、横の長さがどのように変わるかを調べます。



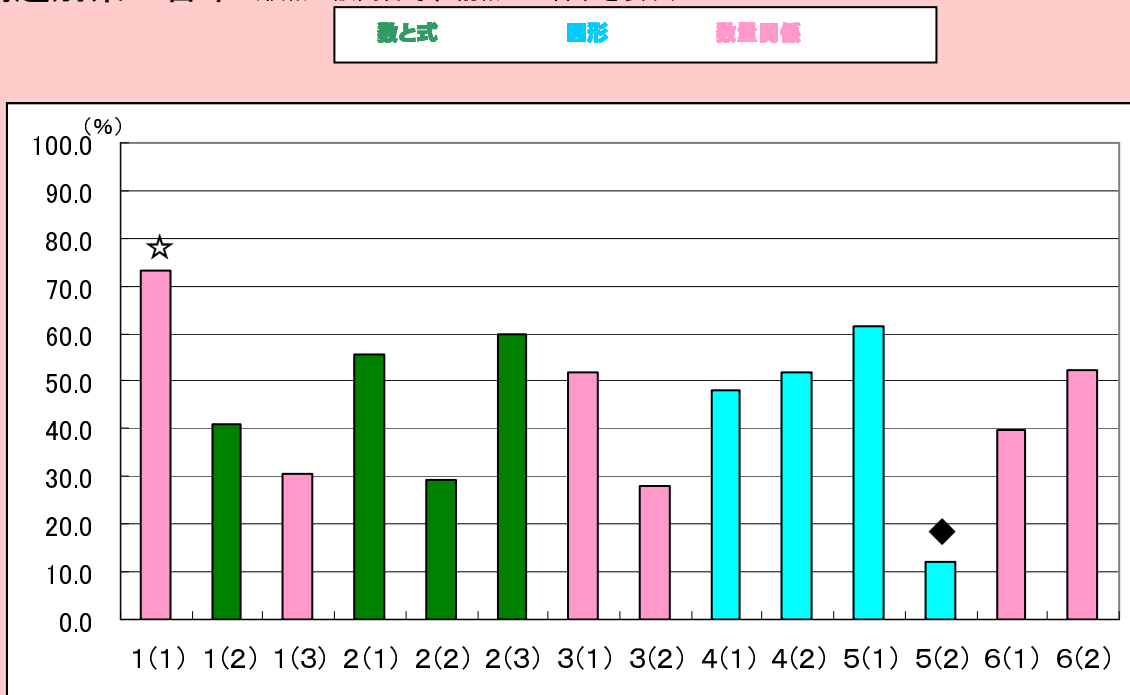
⋮

長方形の縦の長さを  $x$  cm、横の長さを  $y$  cm とするとき、 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。



「数量関係」の領域の設問に対する正答率が低い。特に、具体的な事象における1次関数の関係を式で表すことに課題がある。文字を用いた式の表し方にしたがって、式を表すこと等はおおむねできている。

問題別県正答率 (横軸は設問番号、縦軸は正答率を表す)



☆最も正答率の高い問題

設問番号	1(1)
奈良県正答率	73.3%
全国正答率	72.7%

学習指導要領の領域

数量関係

問題形式  
短答式

健康な体や体力を維持するには、適度な運動が必要とされています。真由さんは、家族の健康のために、1週間にどれくらいの運動をすればいいかを調べたところ、次のパンフレットを見つけました。このパンフレットには、身体活動量を数値で表す方法が書かれています。

**目標は週23エクササイズ!**

■エクササイズとは？  
身体活動(運動・生活活動)の量を表す単位です。  
身体活動量は、次の式で求めることができます。

$$\text{身体活動量(エクササイズ)} = \text{身体活動の強度} \times \text{身体活動の実施時間(時間)}$$

■身体活動の強度とは？  
身体活動の強さを示す数値で、安静時を1としたときの何倍に相当するかを表したものです。

運動の例(レクリエーション程度の場合)	強度	生活活動の例
① 歩く(ゆっくり)	2	① 掃除をする
② バレーボール	3	② 大の散歩
③ 遊歩(軽い)	4	③ 自転車に乗る
④ バスケットボール	5	④ 軽い
⑤ ランニング	6	⑤ 軽作業をする
	7	⑥ 階段を上る

■身体活動量を求めてみよう!  
例えば、上の表でバスケットボールは強度6の運動です。バスケットボールを1時間30分行った場合の身体活動量は、次のように求めることができます。  
 $6 \times 1.5 \text{ (時間)} = 9 \text{ (エクササイズ)}$

(1) 真由さんは、よく自転車に乗ります。自転車に30分間乗ったときの身体活動量を求めなさい。

◆最も正答率の低い問題

設問番号	5(2)
奈良県正答率	12.0%
全国正答率	9.4%

学習指導要領の領域

図形

問題形式

記述式

(2) 図3のような道具箱があります。図4は、上の段を動かしたときの様子を真横から見たものです。

この道具箱は、次のように2本のアームを取り付けることで、上の段が下の段に対していつも平行に保たれるようになっています。

- ◆ 同アームを2本用意し、図5のように上の段に点E、下の段に点Fをとり、そこに1本のアームを取り付ける。
- ◆ 図6のように、下の段に点Gをとり、そこにもう1本のアームを取り付ける。
- ◆ 図7のように、点Eを中心としFGの長さと同じ半径の円をかき、そして点Gを中心としてアームを回転させ、円と重なった点Hにこのアームを取り付ける。

※反対側のアームも同じように取り付けます。

このようにアームを取り付けると上の段が下の段に対していつも平行に保たれるのは、四角形EFGHがいつでも平行四辺形になるからです。下線を証明するための根拠となることから、平行四辺形になるための条件を用いて書きなさい。

数学的に記述したり、説明したりする問題では、いずれも正答率が低い。事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

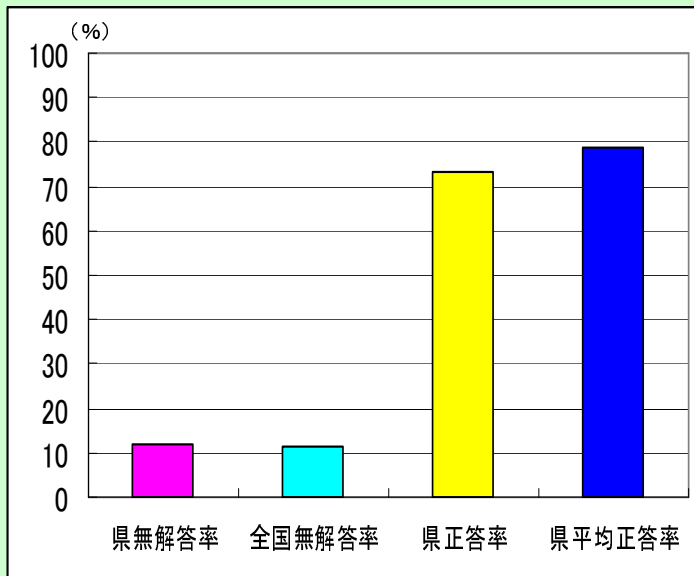
## 本県の子どもが何も書けなかった問題

問題Bで無解答率が高いもの

### 小学校国語B 学習指導要領の領域等 話すこと・聞くこと

3二 話し手が聞き手に問いかけるよさについての説明を書く

無解答率 奈良県 11.8% 全国 11.2%

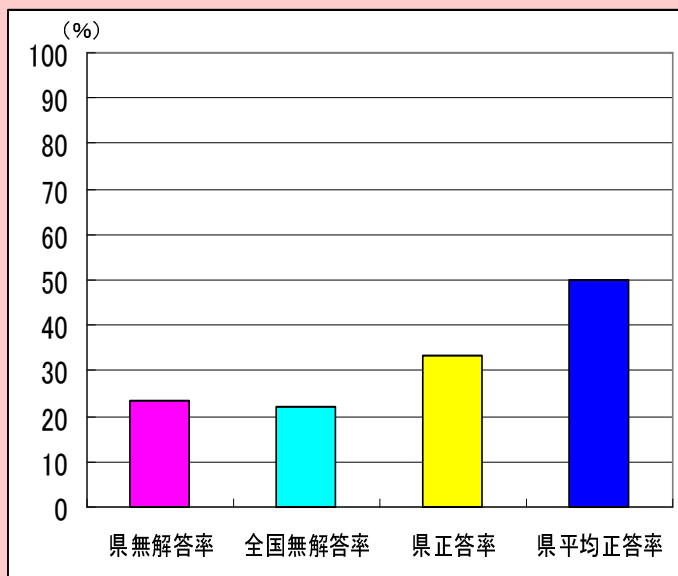


二 丸山さんの発表を聞いた福島さんは、——部「なぜ、このように角度が急になって  
いるのだと思いますか」について、「聞き手に問いかけたところがよかった」と言いました。  
なぜ、問いかけるとよいのかを説明しましょう。

### 小学校算数B 学習指導要領の領域 量と測定、図形

4 平行四辺形から台形に図形を変えて、示された2つの三角形の面積が等しいこと  
の説明を書く

無解答率 奈良県 23.4% 全国 22.0%



あかねさんは、次のように言いました。



三角形④と三角形⑤の形はちがいます。  
でも、たかしさんと同じ考え方を使えば、  
面積が等しいことがわかります。

たかしさんと同じ考え方を使って、三角形④と三角形⑤の面積が等しくな  
ることを説明すると、どのようになりますか。

下の□□□の中に言葉を入れましょう。解答は、すべて解答用紙に書きま  
しょう。

説明

三角形カキクと三角形ケキクは、  
底辺と高さが同じなので、面積が等しくなります。

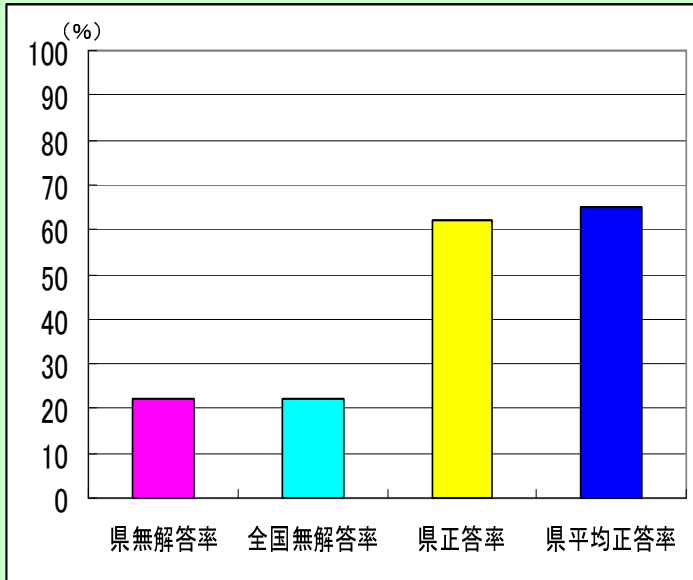
※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

だから、三角形④と三角形⑤の面積は等しくなります。

## 中学校国語B 学習指導要領の領域等 書くこと、読むこと

3三 二つの表現に共通した面白さについて自分の考えを書く

無解答率 奈良県 22.2% 全国 22.0%



三 山田さんと中川さんは、この文章で面白いと感じた点について話し合っています。次は、「二人が『面白くない』と『面白い』の二語です。『面白い』の二語で山田さんは「③④」には、共通した面白さがあるよね」と語り合っています。あなたは「③」と「④」に、どのような共通した面白さがあるかと考えます。あなたの考えを、「面白くない」と「面白い」の二語に続けて、二十字以上、五十字以内で書きます。

なお、読み返して文章を直したいときは、「本線」で消したり行間書き加えたりしてもかまいません。

【面白くない表現】

- ① 皮を剥いで、肉を噛みつぶすだけで読みたいものだとイギリスのシドニー・スマイスという人が言っていたという話がある。
- ② 淡灰色の埃入りの毛衣だけはちよつと洗ひ強りでもする。
- ③ なまぐさくさしたかきかきものをむくむくしてたり、焼いてみたり、酢に漬けてみたり、味噌をつけてみたり、好んでよいな手数をかけてお互いに恋している。
- ④ なにもあんなに雑多なものを皮膚の上へ被せて暮らすなくてはならない。

【面白い表現】

山田 ①は、誰なのかわからない人間でもあり知らないようなことを知っていると面白いです。

中川 ②は、できるはずのないことを、その気になればできるかのように語っているところが面白いと思う。

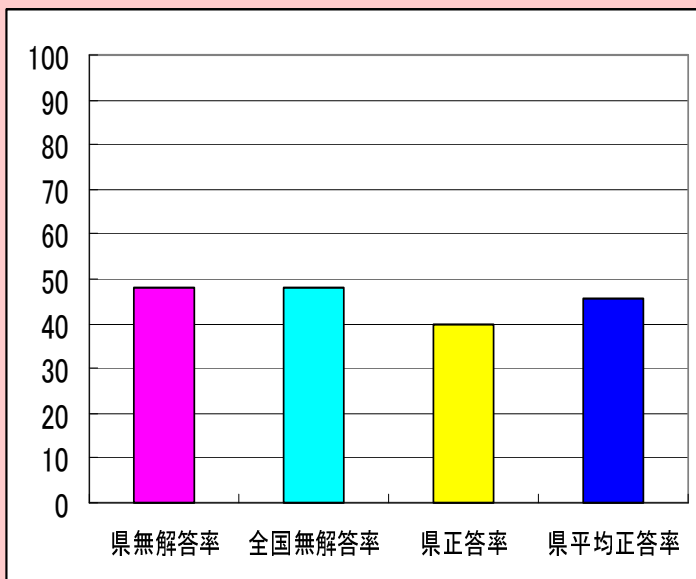
山田 ③④には、共通した面白さがあるよね。

## 中学校数学B 学習指導要領の領域 図形

6(1) L字型の厚紙を引き出すとき、その長さや面積の

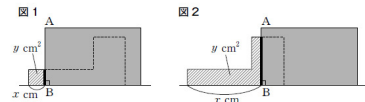
関係を表すグラフの特徴を説明する

無解答率 奈良県 48.1% 全国48.3%



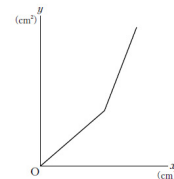
6 封筒とL字型の厚紙があります。この厚紙を封筒の中に入れて、右の図のように引き出します。

図1、図2は、その様子を表したもので、厚紙が封筒の端ABと重なる部分を太線で表しています。このとき、L字型の厚紙を封筒の端からx cm引き出したときに封筒から出ている部分の面積を $y \text{ cm}^2$ とします。



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。ただし、座標軸の目盛りは省略しています。

(1) 次のグラフは、L字型の厚紙をすべて引き出すまでのxとyの関係を表したものです。

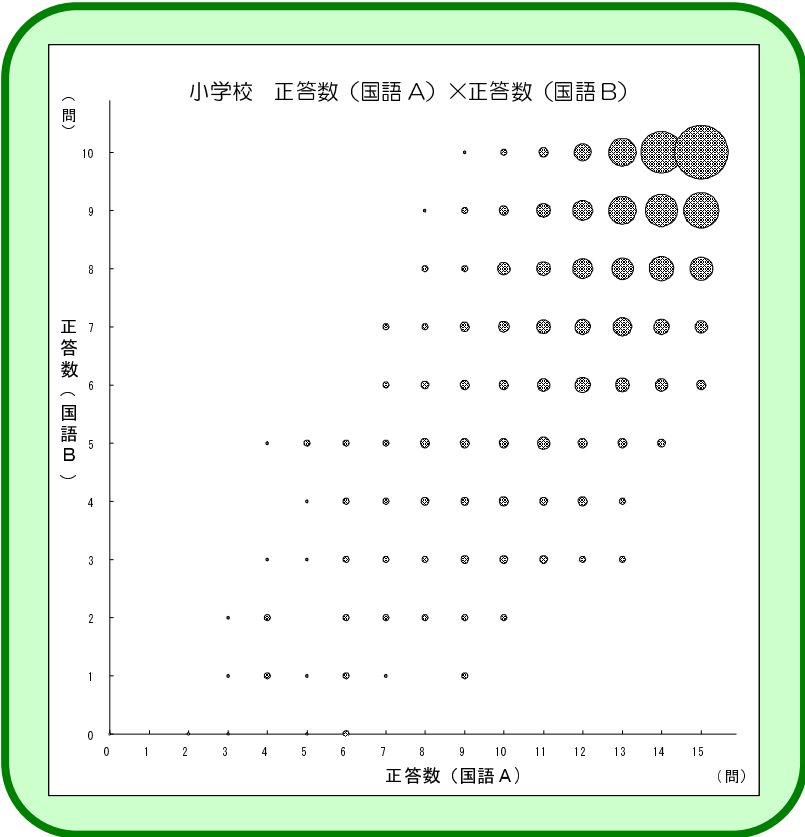


L字型の厚紙を引き出していくと、厚紙が封筒の端ABと重なる部分の長さは途中から長くなります。このことは、上のグラフのどのような特徴に表れていますか。その特徴を「傾き」という言葉を用いて説明しなさい。

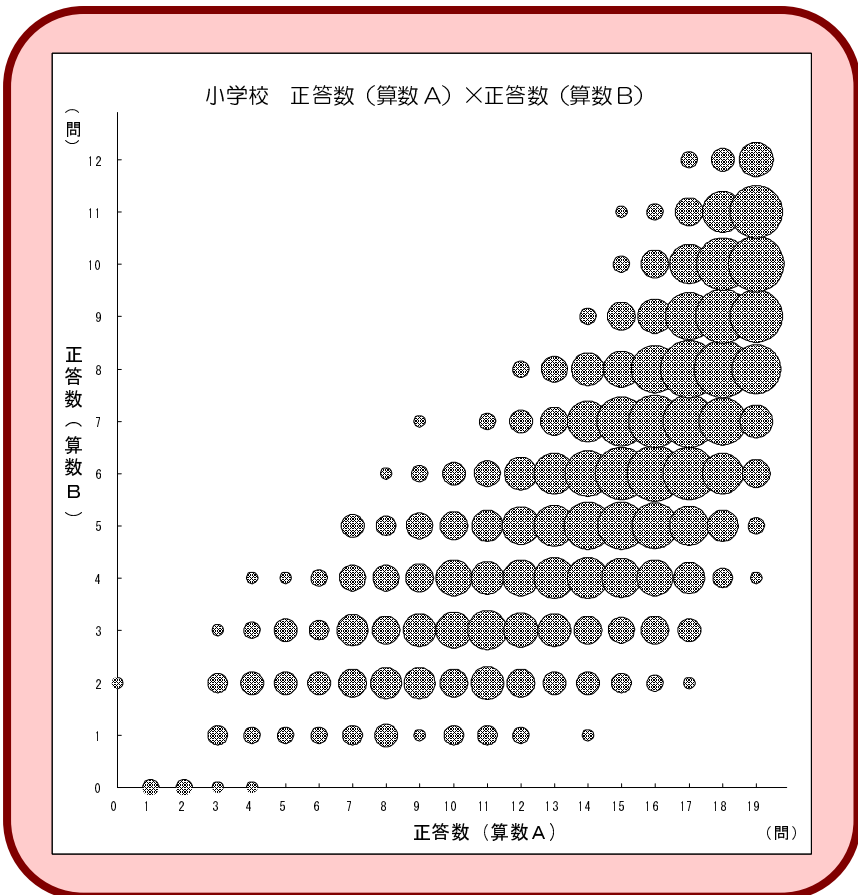


教科内の相関、教科間の相関（バブルチャートによる分析）

**活用の力が身に付いている児童生徒は知識の定着も高い！**



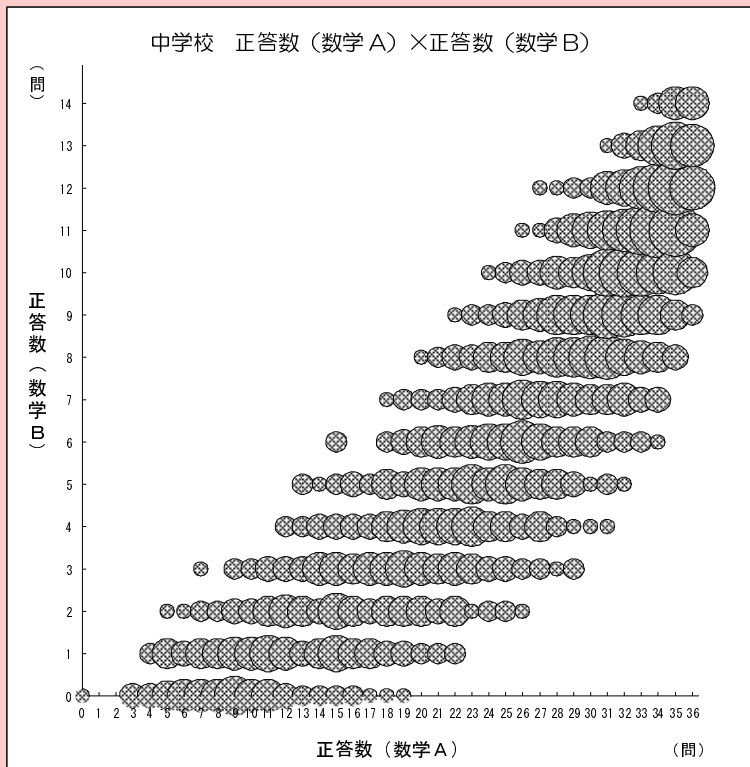
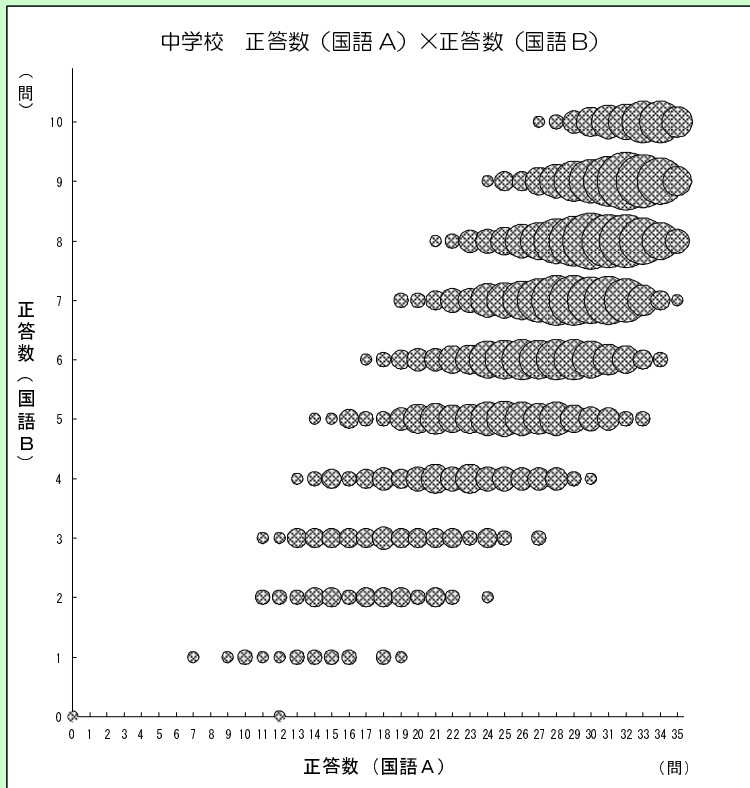
- 国語、算数のいずれにおいても、活用に関する問題（問題 B）の正答数が多い児童は、知識に関する問題（問題 A）の正答数も多い。
- 国語、算数のいずれにおいても知識に関する問題（問題 A）の正答数が多い児童は、活用に関する問題（問題 B）の正答数において広く分布している。
- 平成 22 年度も平成 21 年度と同様の傾向が見られる。



バブルチャートによるグラフ

2軸の座標上（正答数）に、大きさが3軸目（児童生徒数）の指標を示す円状の図（バブル）を配置した図

知識が身に付いていても、活用に課題のある児童生徒が見られる！



○国語、数学のいずれにおいても、活用に  
関する問題（問題  
B）の正答数が多い  
生徒は、知識に関す  
る問題（問題A）の  
正答数も多い。

○国語、数学のいず  
れにおいても知識  
に関する問題（問  
題A）の正答数が  
多い生徒は、活用  
に関する問題（問  
題B）の正答数に  
おいて広く分布し  
ている

○平成 22 年度も平  
成 21 年度と同様  
の傾向が見られ  
る。

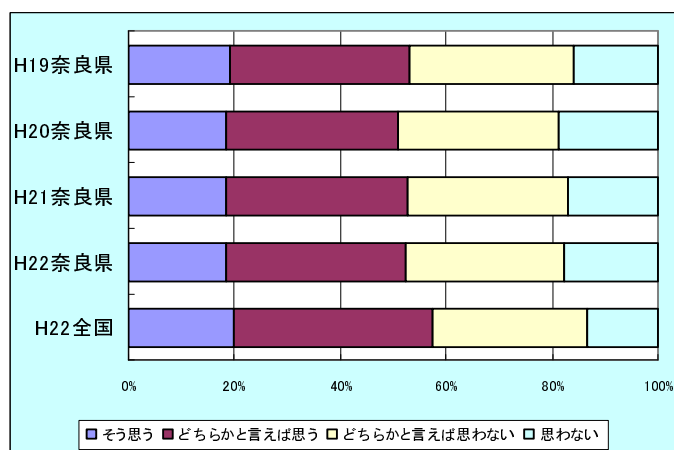
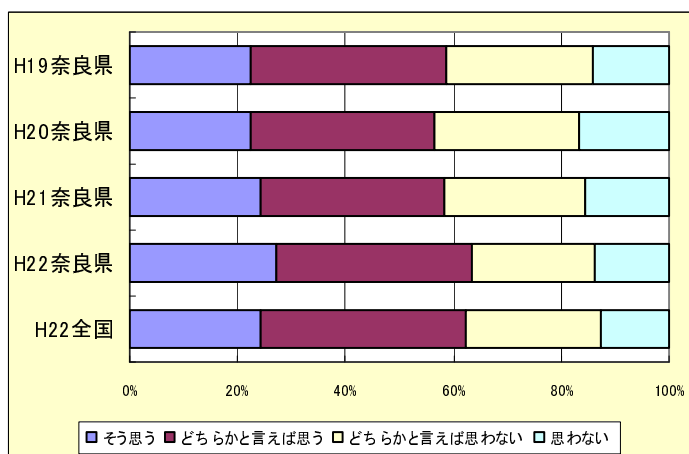
# 児童生徒質問紙調査結果から

左列 小学校（背景黄色） 右列 中学校（背景水色）

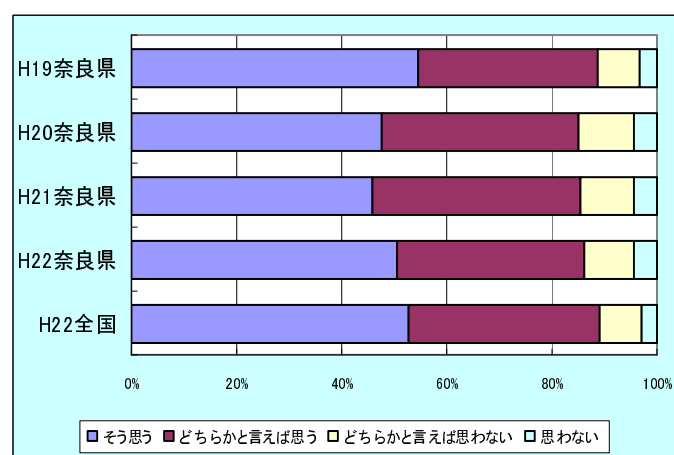
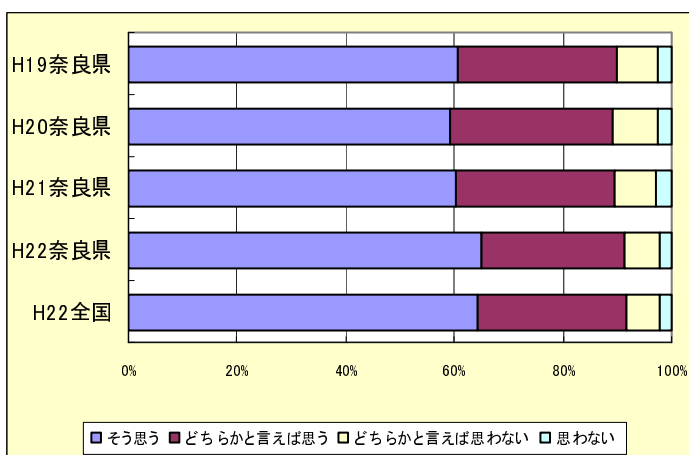
## 学習に対する意識に関する設問

学習は大切だと回答している児童生徒の割合は、中学校数学を除いて約90%となっているが、それに比べ、好きであると回答している割合は20ポイント近く低くなっている。また、授業内容がよく分かると回答している児童生徒の割合は、小学校では約80%である。中学校では65%前後と低いものの、4年間を比較するとおおむね増加している。

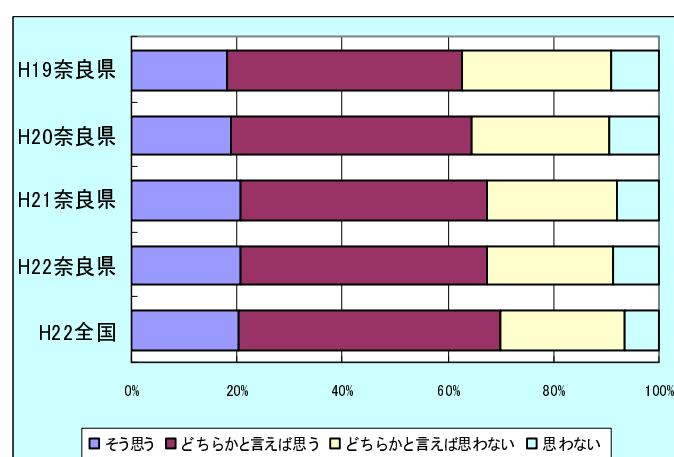
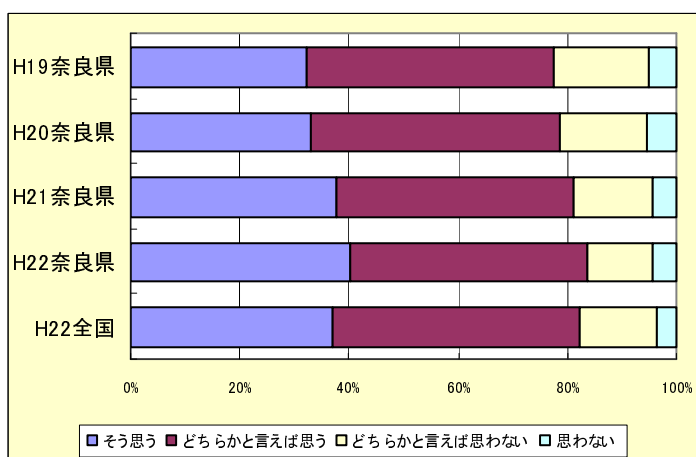
### 国語の勉強は好きですか



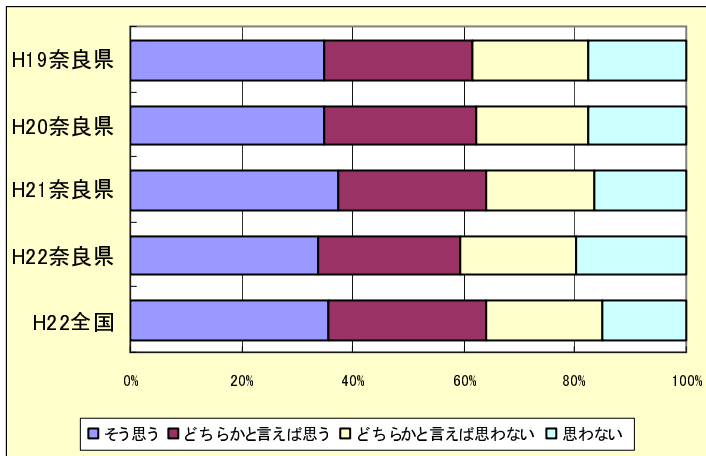
### 国語の勉強は大切だと思いますか



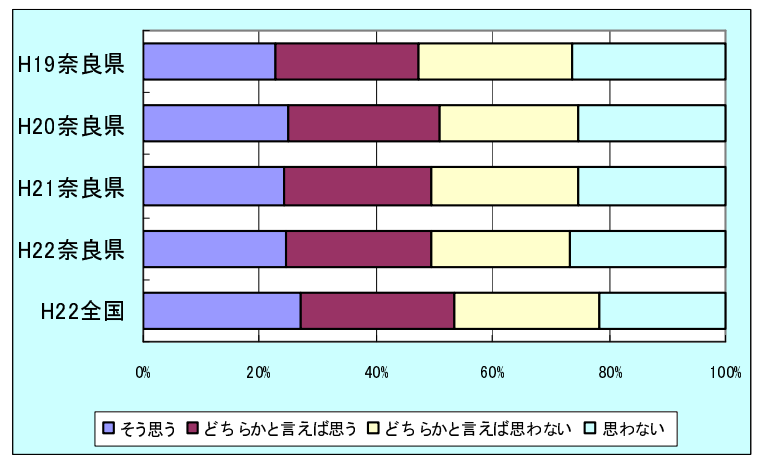
### 国語の授業の内容はよく分かりますか



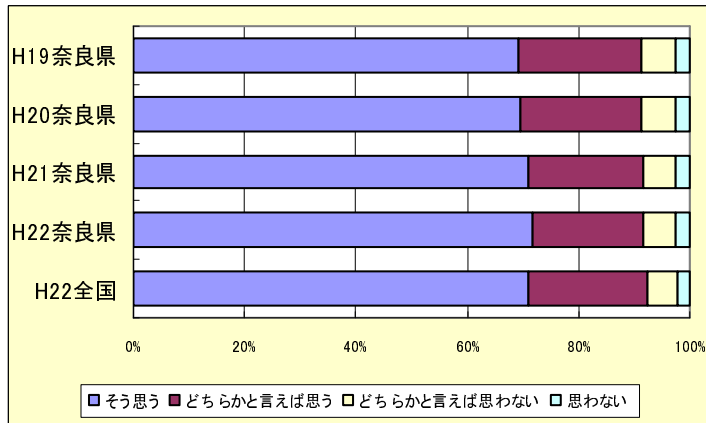
算数の勉強は好きですか



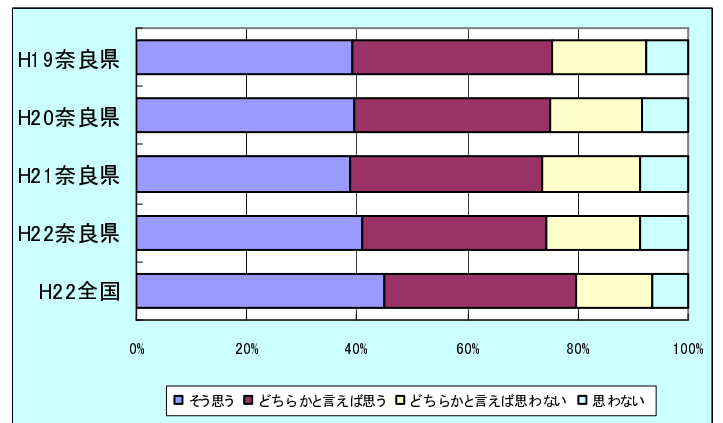
数学の勉強は好きですか



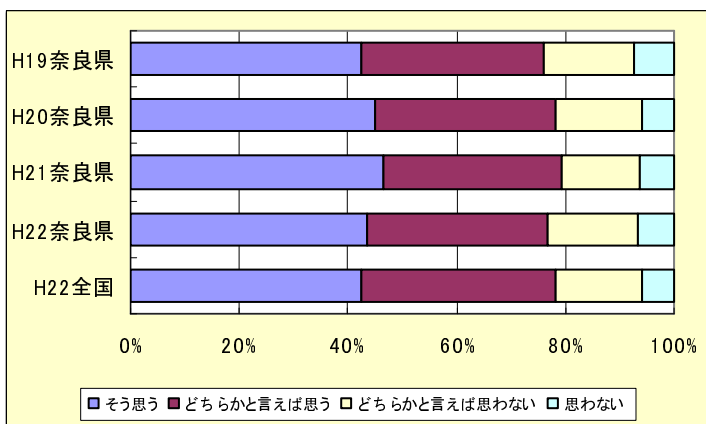
算数の勉強は大切だと思いますか



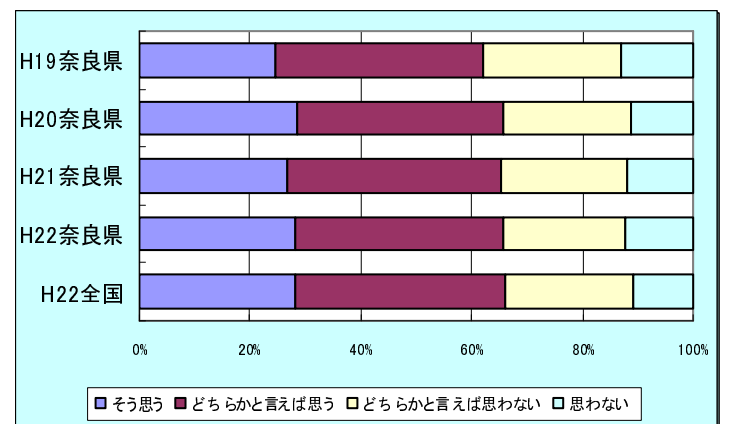
数学の勉強は大切だと思いますか



算数の授業の内容がよく分かりますか



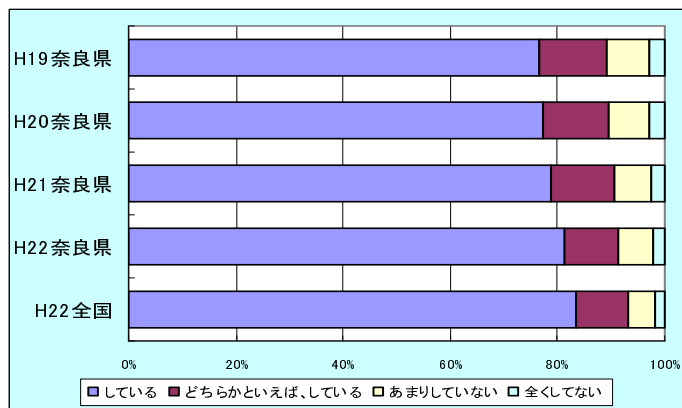
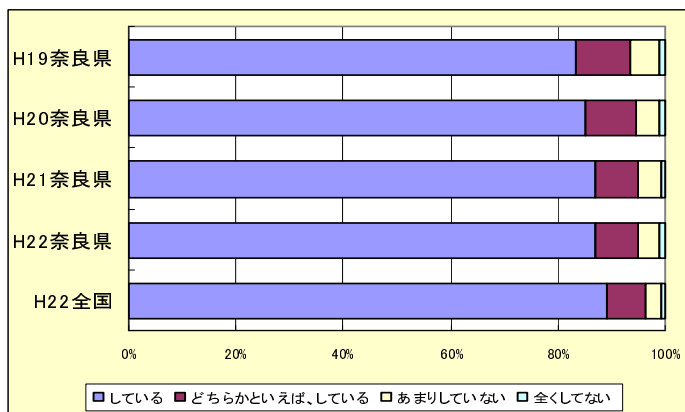
数学の授業の内容がよく分かりますか



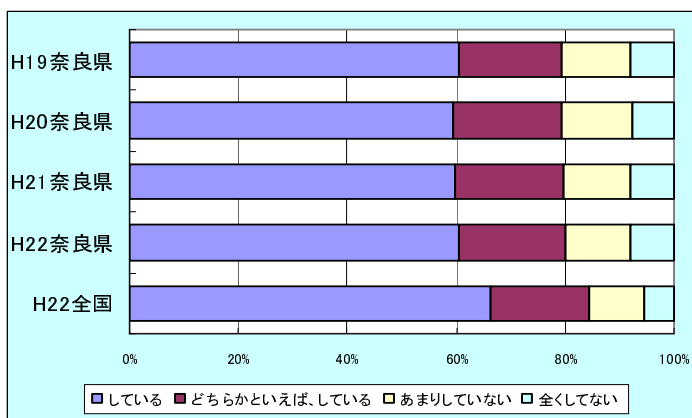
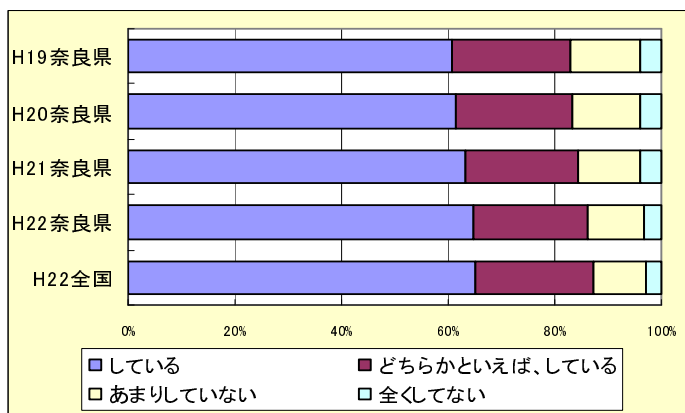
## 基本的生活習慣に関する設問

毎日の就寝時刻や家庭での学習習慣など、基本的生活習慣にかかわるすべての設問で、本県の児童生徒は、全国平均を下回っており、基本的生活習慣の確立に課題が見られる。特に中学校では、普段の就寝時刻が午前0時を越える生徒が全国平均を15ポイント以上上回り、就寝時刻が遅い傾向は4年間変わらない。朝食を毎日食べる児童生徒は、年々増加している。

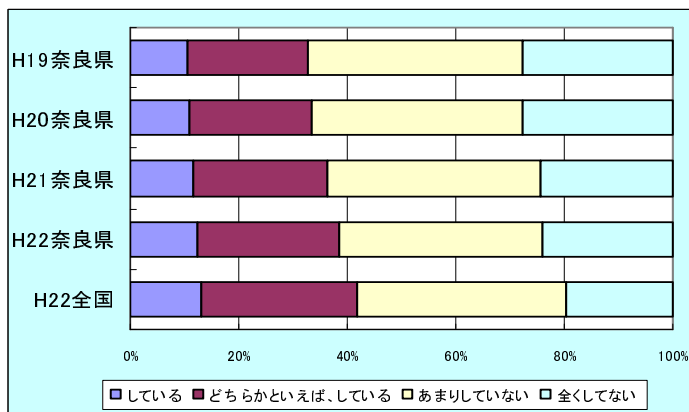
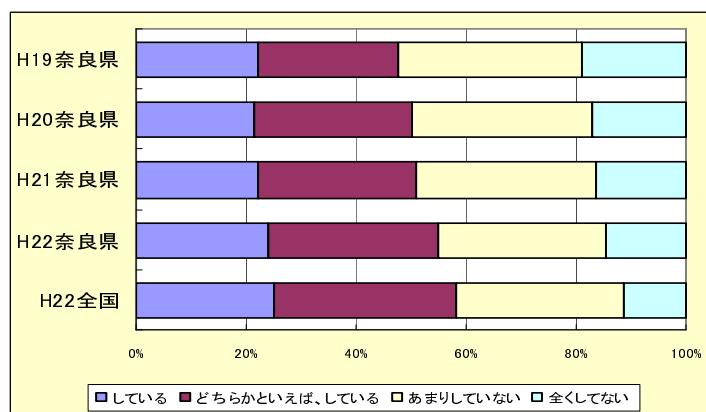
### 朝食を毎日食べていますか



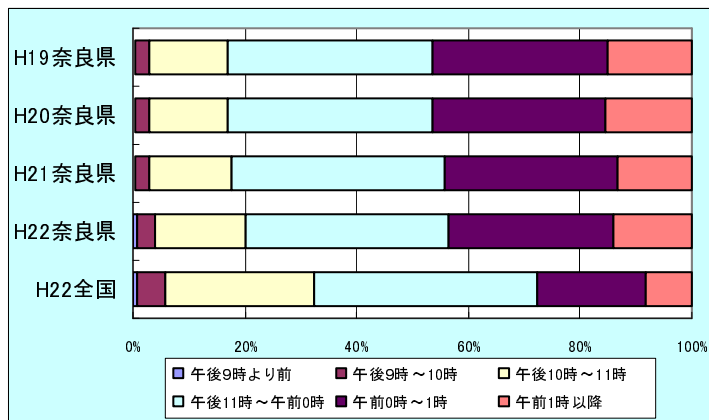
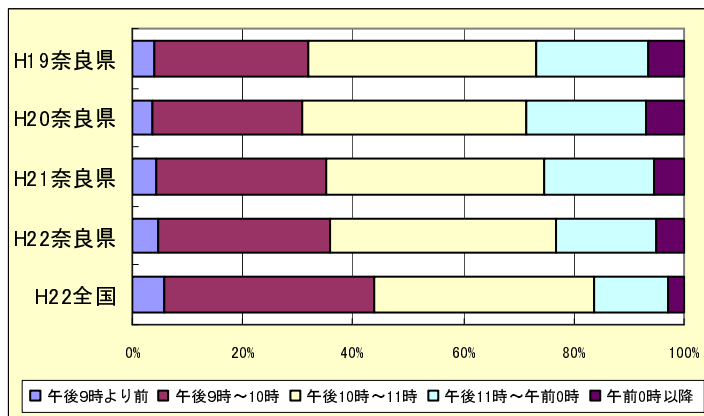
### 学校に持っていくものを、前日か、その日の朝に確かめていますか



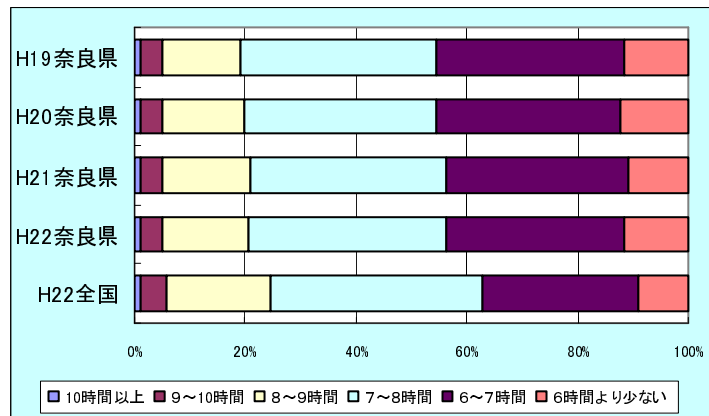
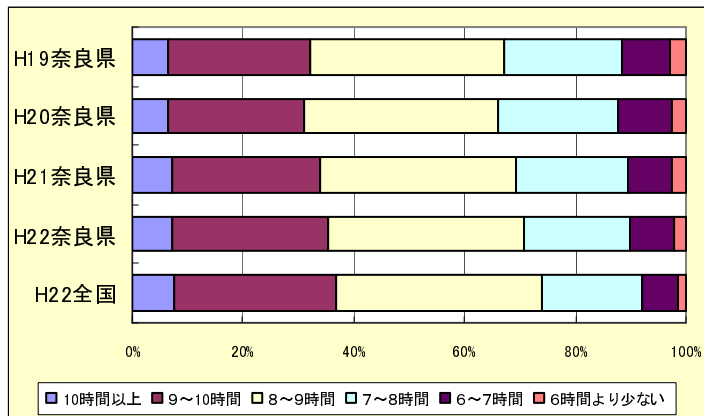
### 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



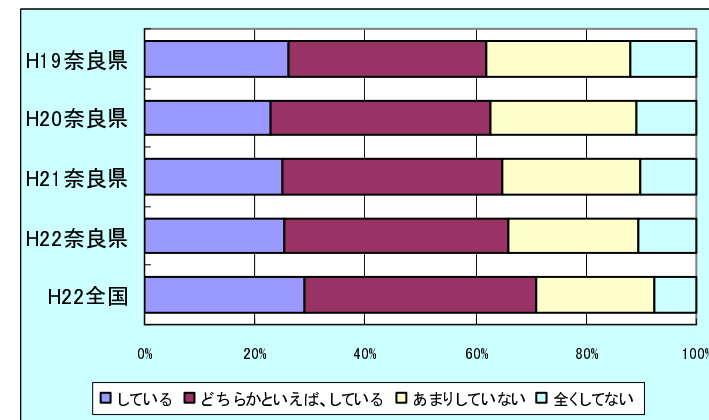
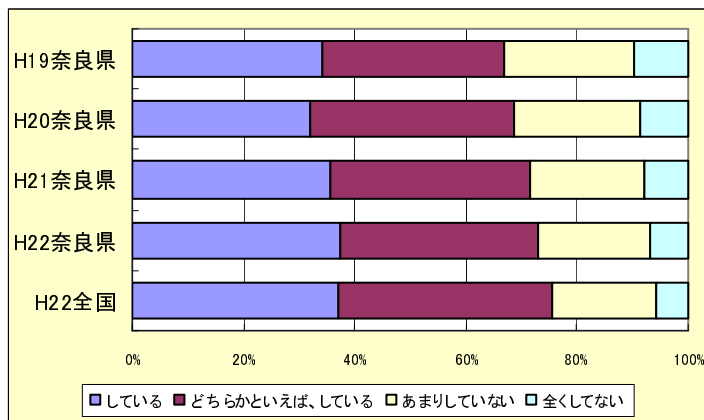
普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか



普段（月～金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか



毎日、同じぐらいの時刻に寝ていますか

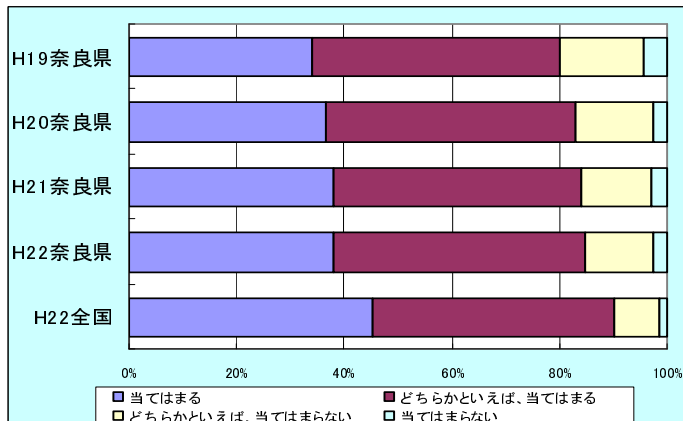
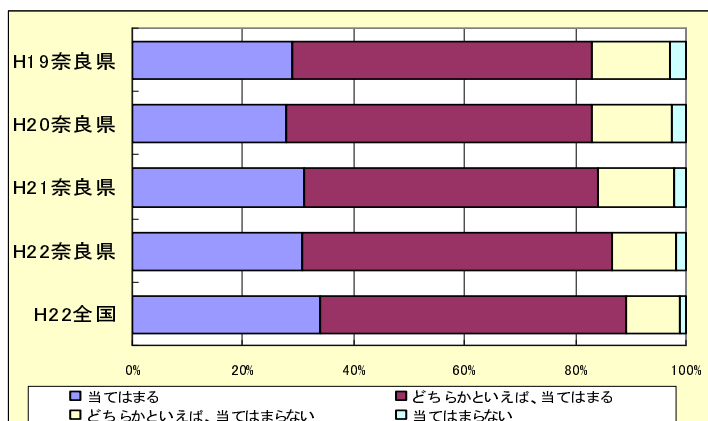




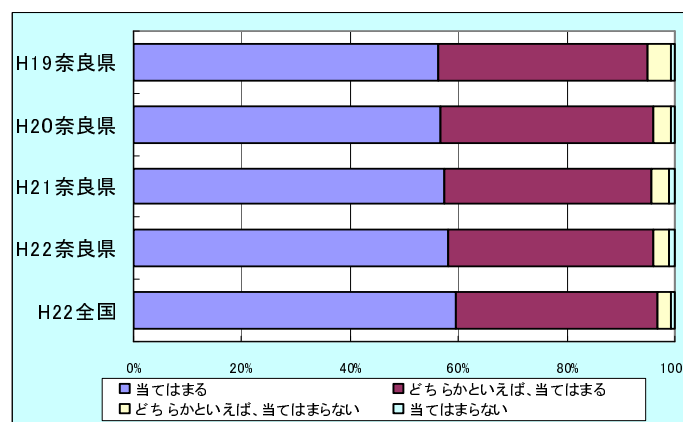
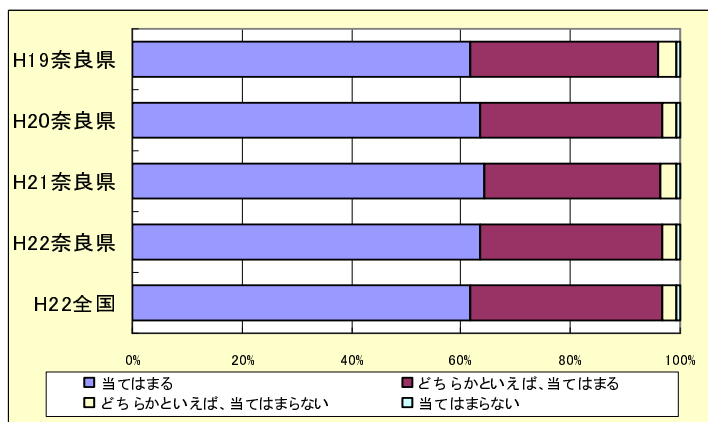
## 規範意識に関する設問

友達との約束を守っていると回答した児童生徒の割合はほぼ全国平均と同じであるが、学校のきまりを守っているかという設問に対し、肯定的に答えた児童生徒の割合は全国平均を下回っているものの、少しずつ改善されてきている。また、いじめに関して、どんな理由があってもいけないと思っている割合も全国平均を下回るものの、年々増加している。

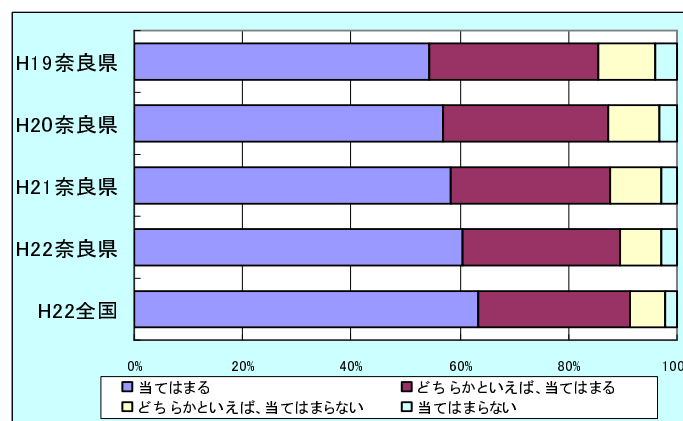
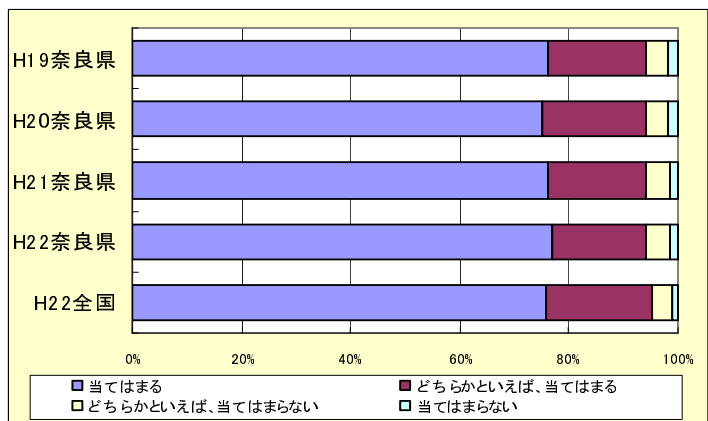
### 学校のきまり（規則）を守っていますか



### 友達との約束を守っていますか



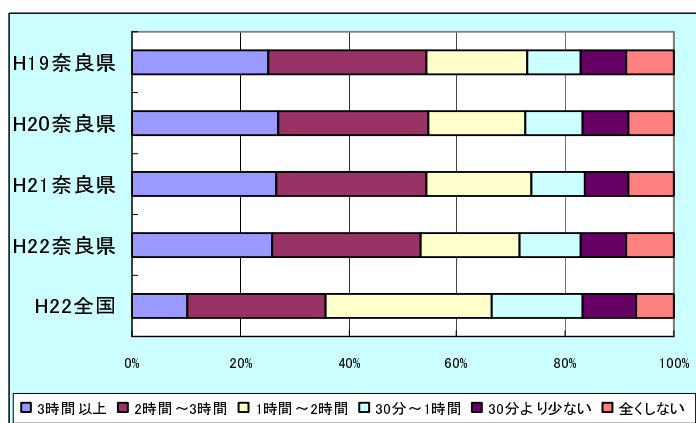
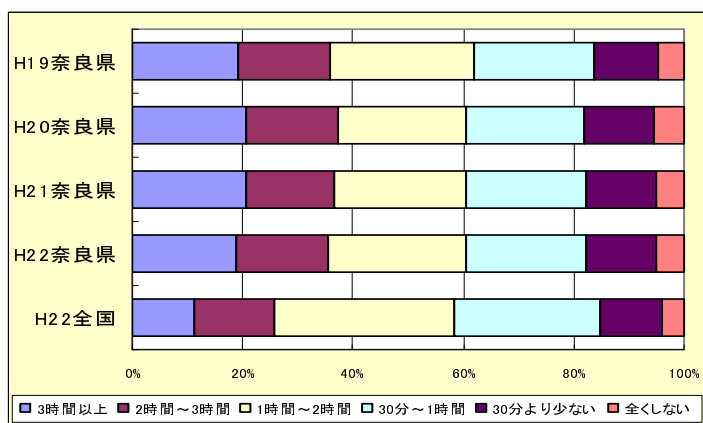
### いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



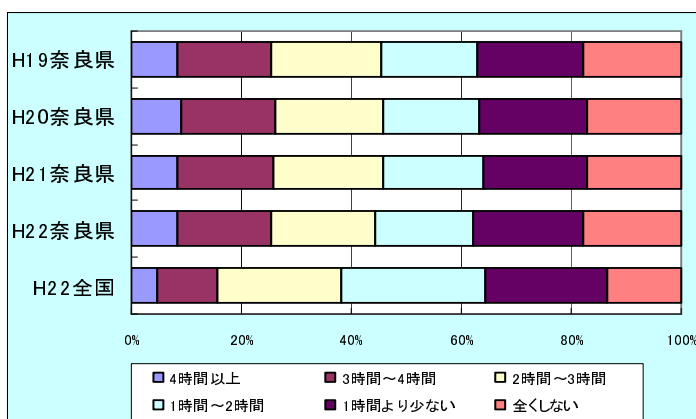
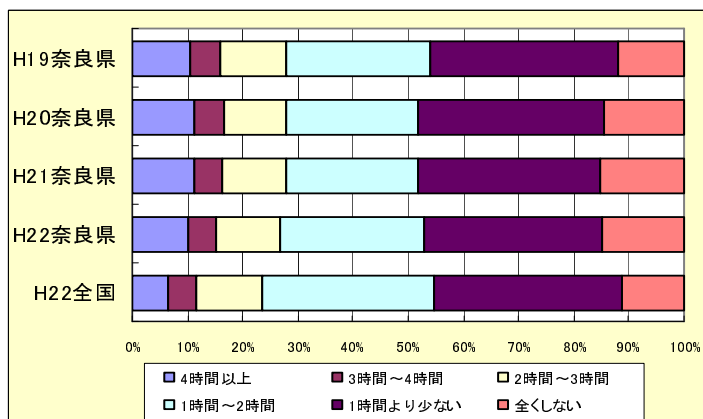
## 学習時間等に関する設問

平成21年度の調査結果と同様に、学校の授業時間以外に、普段、1日当たり2時間以上勉強している児童生徒の割合は、全国平均より10～20ポイント多い。学習塾に通っている児童生徒の割合は、全国平均より約10ポイント多い。

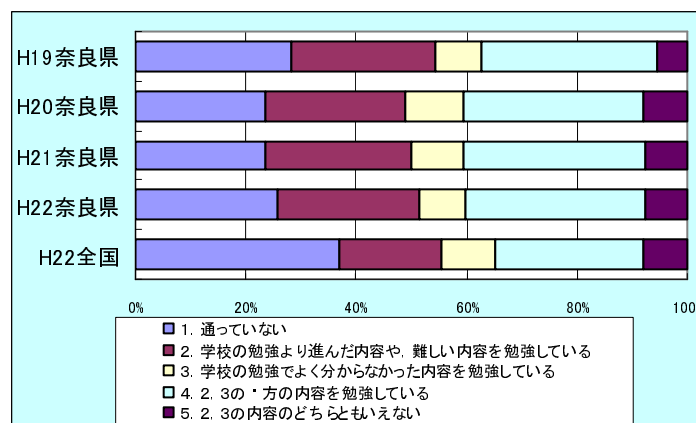
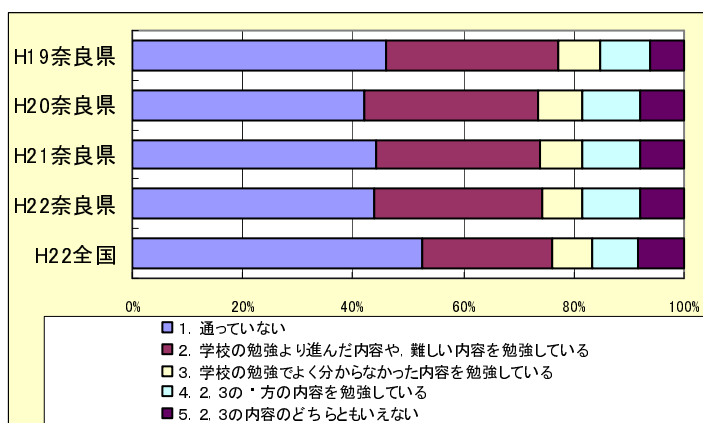
### 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



### 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



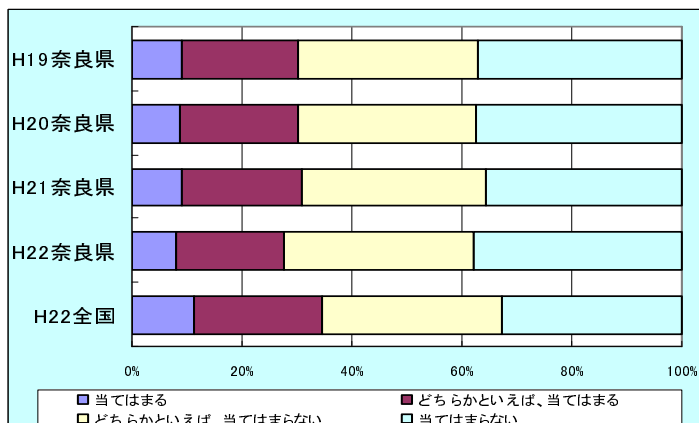
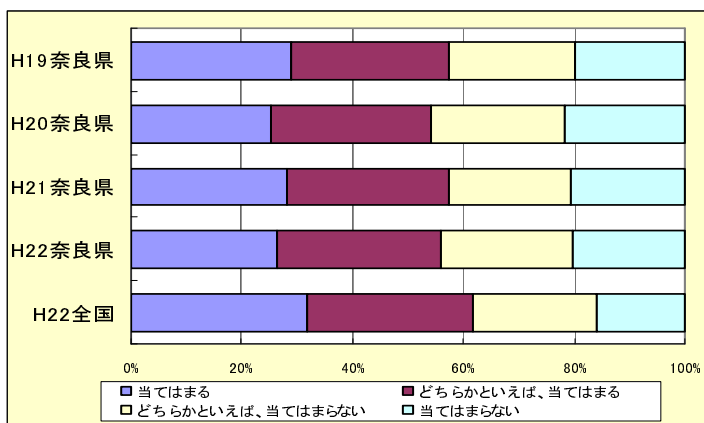
### 学習塾（家庭教師を含む）で勉強していますか



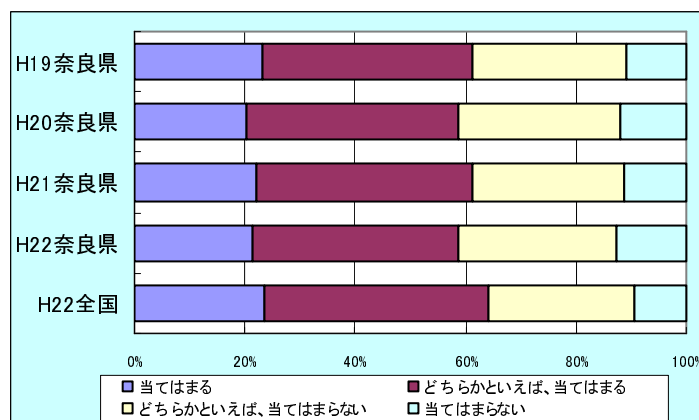
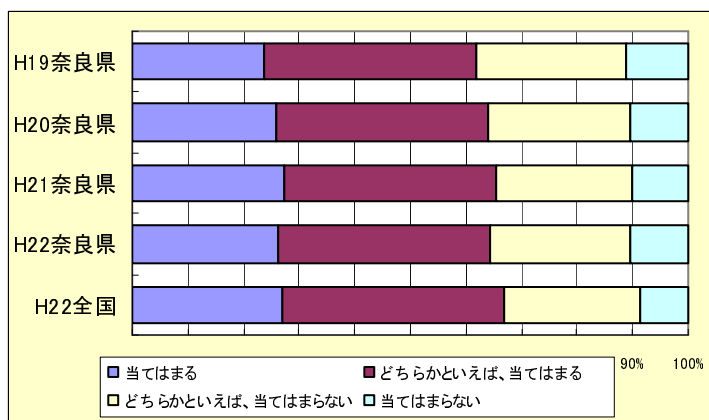
## 社会への関心に関する設問

今住んでいる地域の行事へ参加する児童生徒の割合は、平成21年度同様、全国平均を下回っている。また、新聞やテレビのニュースなど、社会への関心をもつ児童生徒の割合も、平成21年度よりやや減少し、全国平均と比べても低い傾向が見られる。

### 今住んでいる地域の行事に参加していますか



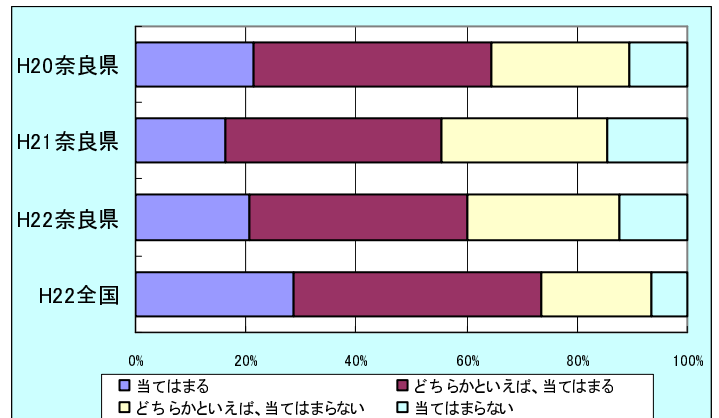
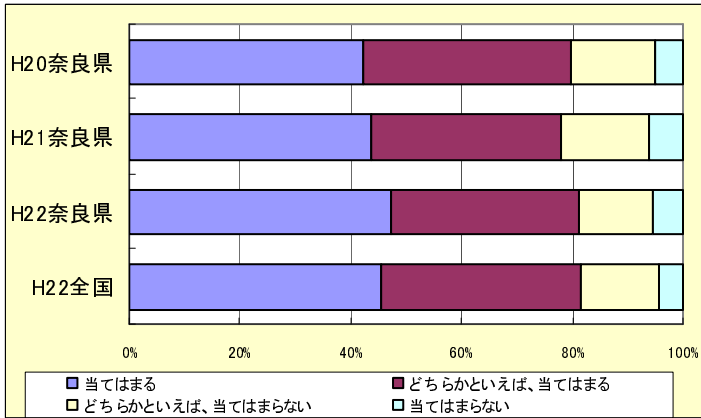
### 新聞やテレビのニュースなどに関心がありますか



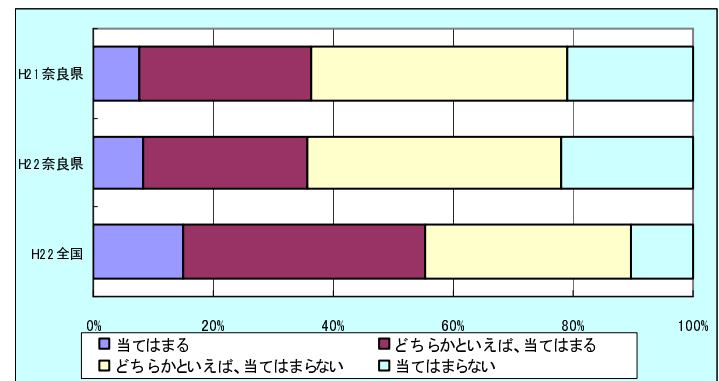
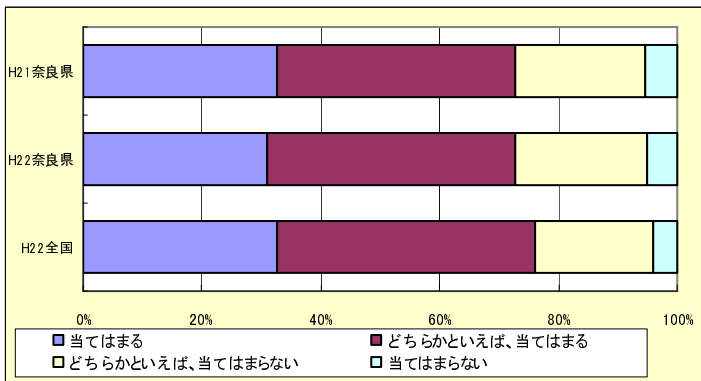
# 言語活動に関する設問

「普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられている」と肯定的に答えた割合は、小・中学校とも平成21年度を上回ったものの、全国平均を下回っている。特に中学校では、10ポイント以上低い。また、「普段の授業では、児童生徒の間に話し合う活動をよく行っている」と肯定的に答えた割合も小・中学校とも全国平均を下回っている。特に中学校では、約20ポイント低い。

## 普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか



## 普段の授業では、児童生徒の間に話し合う活動をよく行っていると思いますか



## 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりするのは難しいと思いますか

